

〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-1

12 月 1 日(火)
シンポジウム

TPP 協定が我々の生活にもたらすことを議論しよう！

「TPP 協定：グローバルとローカルの相克と相性」

- 横浜国立大学（学長：長谷部勇一）は 12 月 1 日（火）、手嶋龍一氏（外交ジャーナリスト・作家）をゲストに招き、TPP 協定に関するシンポジウムを開催します。当日は、手嶋氏の基調講演とともに、横浜国立大学大学院国際社会科学研究院の教授陣が参加するパネルディスカッションも行ないます。
- 私達はみな、神奈川県民や横浜市民といったローカル社会の市民であり、同時にグローバル社会・グローバル経済の一員であるという 2 つのアイデンティティをもっています。TPP 協定は、バターの供給や名画 DVD の価格といった身近な問題、グローバル・バリューチェーンの構築など、グローバルとローカルな視点が混在する多くの事項を包含しています。この TPP 協定を題材として、私たちは自分たちをどのように捉え、何を選ぶのか、TPP 協定の実施は、ローカル市民とグローバル市民としての私達にどのような影響を与えるのか、といった問題をテーマとします。みなさまの積極的なご参加をお待ちしております。

■シンポジウムの概要

開催日：2015 年 12 月 1 日（火） 18:30～21:00

会 場：横浜市開港記念会館講堂（横浜市中区本町 1 丁目 6 番地）

参加費：無料

<http://www.iblaw.ynu.ac.jp/ippep/works/symposium/2015/01Dec.html>

■お申し込み

どなたでもご参加いただけます。下記アドレスまでお名前と所属（任意）をお知らせください。

e-mail: ippep@ynu.ac.jp

託児サービスも利用できます。

http://www.iblaw.ynu.ac.jp/ippep/works/symposium/2015/01Dec_takuji

本件に関するお問い合わせ先

横浜国立大学 国際社会科学府国際公共政策 E P 掛江

電話・Fax: 045-339-3638 e-mail: ippep@ynu.ac.jp

別途資料をご参照のうえ、是非とも周知・ご取材等をお願いいたします。



私達はみな、神奈川県民や横浜市民といったローカル社会の市民であり、同時にグローバル社会・グローバル経済の一員であるという2つのアイデンティティをもっています。TPP協定は、バターの供給や名画DVDの価格といった身近な問題、グローバル・バリューチェーンの構築など、グローバルとローカルな視点が混在する多くの事項を包含しています。このTPP協定を題材として、私たちは自分たちをどのように捉え、何を選ぶのか、TPP協定の実施は、ローカル市民とグローバル市民としての私達にどのような影響を与えるのか、といった問題をテーマとし、ゲストに手嶋龍一氏を迎えてシンポジウムを開催します。

2015年
12月1日[火] 18:30-21:00
横浜市開港記念会館講堂

横浜市開港記念会館講堂（〒231-0005 横浜市中区本町 1-6）
みなとみらい線「日本大通り駅」1番出口徒歩1分（約50m）



主催：横浜国立大学大学院国際社会科学府
国際公共政策 EP

後援：横浜市・神奈川県（予定）

参加費無料



基調講演・パネル：手嶋龍一氏
(外交ジャーナリスト・作家)

司会

柳 赫秀（横浜国立大学教授：国際経済法学）

パネリスト

パーソンズ クレグ（横浜国立大学教授：経済学）

松井 美樹（横浜国立大学教授：経営学）

荒木 一郎（横浜国立大学教授：国際経済法学）

●事前の申し込みをお願い致します / 申し込み・問い合わせ先：ippep@ynu.ac.jp

●託児サービスあり（無料・要予約、詳細はWEBサイトをご覧ください）

www.iblaw.ynu.ac.jp/ippep/works/symposium/2015/01Dec

国際公共政策 EP シンポジウム TPP 協定

グローバルとローカルの相克と相生

環太平洋パートナーシップ（TPP）協定の交渉が大筋合意に至った。TPP 協定は、アジア太平洋地域における高い水準の貿易自由化をめざすものである。同協定が実施されることで我々の生活はどのような影響を受けるのか、人々の反応は賛否が分かれ、しばしば感情的な意見が聞かれる。

TPP 協定に対する人々の反応に表れているのは、私達がみな、神奈川県民や横浜市民といったローカル社会の市民であり、同時にグローバル社会・グローバル経済の一員であるという2つのアイデンティティを持っており、その間で揺らいでいるという事実である。TPP 協定は、2つのアイデンティティの間で自分たちをどのように捉えればよいのか、私達は何を選ぶのかという問題と結びつく。

今日の日本においては、食の安全、社会の高齢化に伴うさまざまな課題、いつ発生するか分からない大規模災害への備えなどが懸念材料となっており、これらが家庭や地域社会において切実な問題と受け止められている。同時に、国際政治情勢が大きく変動しつつある中で、アジアにおける成熟した民主国家としての日本は周辺諸国とどのように関わって行くべきなのか、また、地球環境問題や貧困問題等のグローバル・イシューに日本としてどのような貢献ができるのかといった課題は、市民としての私達が真剣に取り組むべき問題となっている。

1日に10億人がSNSでつながっている一方で、そのSNSへの接続を国家が遮断する国もあるという現状においては、グローバル市民としての個々の行動が国の政策決定にも大きな影響を及ぼす。TPP 協定は、バターの供給や名画DVDの価格といった身近な問題からグローバル・バリュー・チェーンの構築、超大国なき世界での国際協調のあり方といった課題に至るまで、多くの事項を包含する体系であり、グローバルとローカルの相克と相生という問題を考える上で格好の材料を提供してくれる。TPP 協定の実施は、グローバル市民とローカルな市民としての私達にどのような影響をあたえるのだろうか。

以上のテーマについて手嶋龍一氏を基調講演に招き、シンポジウムを開催する。

基調講演・パネル：手嶋龍一 氏

NHKの政治部記者として主に外交問題を担当した後、ワシントン特派員としてホワイトハウス取材を担い、米ソ冷戦の終焉に立ち会う。その直後に起きた湾岸戦争ではブッシュ41代大統領に同行して最前線へ。その経験をもとに執筆した『たそがれゆく日米同盟』『外交敗戦』（ともに新潮文庫）が認められ、ハーバード大学・国際問題研究所に招聘される。

NHKドイツ支局長を経てワシントン支局長を8年間にわたって務める。この間、ブッシュ43代大統領の単独インタビューを行う。2001年の同時多発テロ事件に遭遇し、11日間の連続の中継放送を担い、冷静で的確な現場報告は視聴者から圧倒的な支持を得た。

NHKから独立後に発表した、日本で初めてのインテリジェンス小説『ウルトラ・ダラー』、姉妹篇『スギハラ・ダラー』は50万部を越すベストセラーに。

同時多発テロから福島原発事故までの十年間を検証し、指導者の有りようを描いた『ブラックスワン降臨』（後に新潮文庫として『宰相のインテリジェンス』）はロングセラーに。また佐藤優氏とのインテリジェンス対論の三部作『動乱のインテリジェンス』『知の武装～救国のインテリジェンス～』『賢者の戦略～生き残るためのインテリジェンス～』（新潮新書）に続く最新作は『インテリジェンスの最強テキスト』（東京堂出版）。

PROGRAM

第一部	18:30-18:35 18:35-19:05 19:05-19:15	開会あいさつ 手嶋氏 基調講演 質疑応答
	19:15-19:25	休憩
第二部	19:25-19:30 19:30-20:15 20:15-20:45 20:45-21:00 21:00	司会あいさつ パネリスト3名による報告（各15分） 手嶋氏によるコメントとパネリストによる回答 質疑応答 閉会

無料託児サービスのご案内

開設時間： 18:15-21:15

対象年齢： 生後3か月～小学校6年生までのお子様

委託先： （株）アルファコーポレーション

申し込み方法： メール・電話で受け付けます。詳細はWEBサイトでご確認ください

www.iblaw.ynu.ac.jp/ippep/works/symposium/2015/01Dec

申し込み締切： 2015年11月24日（火）

主催：横浜国立大学大学院国際社会科学府 国際公共政策 EP